

建築CAD検定試験

准1級・2級・3級・4級 実施概要のご案内

建築CAD検定試験とは・・・

本試験は、建築CADの操作技能レベルを特定するため1993年に日本初の建築CADの資格試験として誕生しました。現在、全国の教育機関や建築業界で広く採用され、100,000余名の有資格者が社会の第一線で活躍しています。

試験内容は、CADの経験に加え図面完成までの「スピード」「テクニック」そして「感性」が問われ、実社会での即戦力者として認定される准1級、与えられた条件のもと自らの基礎的な建築知識から建築一般図を完成させる2級、的確なコマンド操作により平面図の部分詳細図を正確にトレースする3級・4級など、いずれもCADのエキスパートとして認定されます。 ※4級は高校のみ

全国の試験認定校、720ヵ所以上

全国の試験認定校は約720ヵ所あり、通われている学校がこの認定校であれば普段お使いの教室で受験いただけます。また、個人で受験する一般受験もご用意しています。
※受験料/准1級:14,700円 2級・3級:各10,500円 4級:3,150円

ジュニアマイスター/アグリマイスター顕彰制度の対象資格

本試験は、全国工業高等学校長協会の「ジュニアマイスター」、全国農業高等学校長協会の「アグリマイスター」の両顕彰制度の対象資格です。
※ジュニアマイスター得点 准1級:A(20点) 2級:B(12点) 3級:D(4点) 4級:E(2点)
※アグリマイスター得点 准1級:A(20点) 2級:C(7点) 3級:D(4点) 4級:F(1点)

受験方法

全国の教育機関で受験できます。試験は4・7・10・1月の年4回行っており、試験日は予め決められた期間の中から各校が希望日を指定します。団体受験を希望される教育機関は、事前に試験認定校への申請登録をしていただきます(無料)。

個人で受験される方の受験方法です。試験は4月・10月の年2回行っており、会場に設置のパソコンを使用するか、ご自分のノートパソコンを持ち込んで受験します。試験会場は各地に用意されていますが近隣にない場合もございますので予めご了承ください。

受験手続きのながれ

- 試験の4ヶ月前に各学校から受験願書(希望部数)の請求をいただきます。
- 記入した願書は各学校ごとにとりまとめ一括して連盟に申し込みます。
- 試験当日の試験監督業務は各学校が担当します。
- 可否結果は試験実施の翌々月中旬頃に各学校あてに郵送します。

- HPの専用フォームから直接お申込みいただけます。
- 各試験会場・実施日時などの詳細が申込開始日当日のホームページに公開されますので、内容を確認のうえお申込みいただけます。
- 可否結果は試験実施の翌々月中旬頃に受験者個人に郵送します。

団体

一般

准1級試験

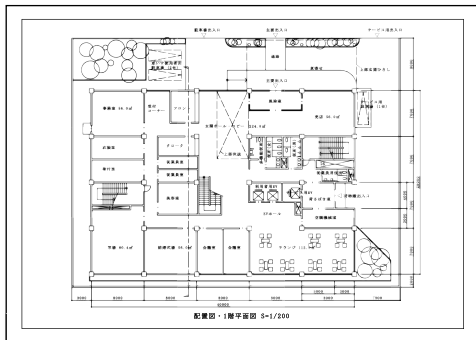
出題内容

課題として与えられた建築図面をもとに、建造物の用途や特性を理解した適切な判断によるトレースを行なってこれを完成させる。試験は実技試験で下記の例に示す建築一般図を4面作成する。

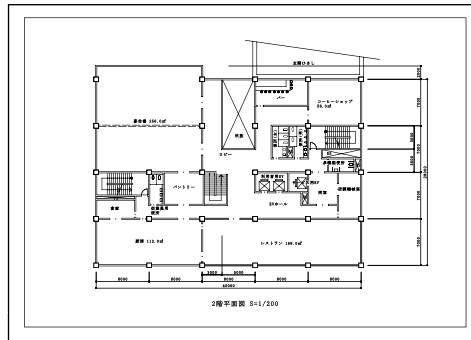
<試験時間:4時間10分(CADの設定:10分、課題の読み解き・入力計画:30分、作図3時間30分)>

出題例 (A3サイズ)

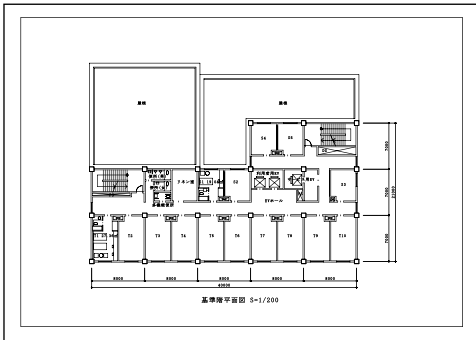
【1階平面詳細図】 S=1/200



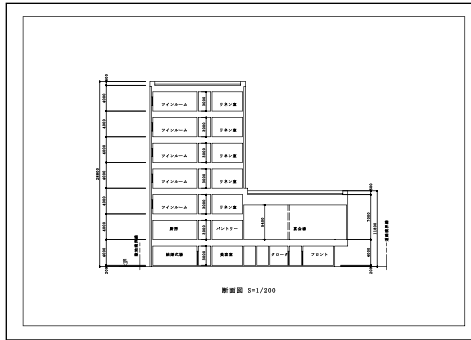
【2階平面図】 S=1/200



【基準階平面図】 S=1/200



【断面図】 S=1/200



POINT

- 試験開始後すぐに10分間のCADシステムの設定時間が与えられます。ショートカットキーの設定や作業効率の高いかつ自らが使用しやすいCAD環境の設定をここでを行います。
- CADシステムの設定後、30分間の各課題図面の読み解き・入力計画の時間が与えられます。准1級試験の課題図面は膨大な分量のため、この入力計画の時間は大変重要になります。
- 各課題図面では柱・壁の位置など必要最低限の寸法しか示されませんので、寸法指定のない箇所は受験者の適切な判断にて作図していきます。スケールでサイズや位置を読み取っても構いませんが、廊下幅、階段、ドアの開口幅、エレベータ、トイレ設備類、外構図用図形などはその適切なサイズ・規格サイズについて最低限覚えておくことが望ましいでしょう。

2級試験

出題内容 自ら持つ建築知識をもとにCADシステムを使って建築図面を作成する実力を備えているかを問う。試験は実技試験で与えられた参考図から一定時間内に下記の例に示す建築一般図を2面(1階平面詳細図・南立面図:S=1/50)作成する。

<試験時間:5時間>

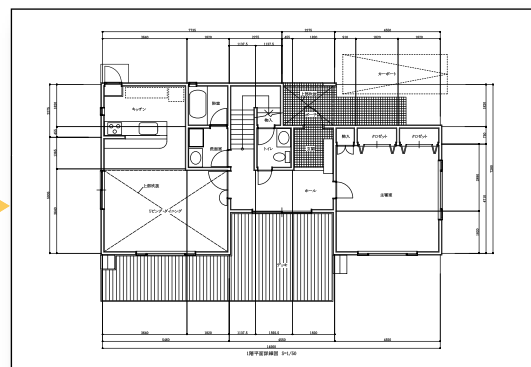
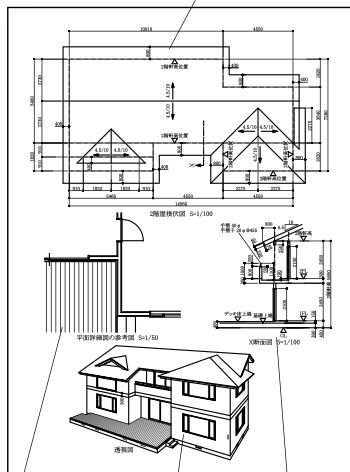
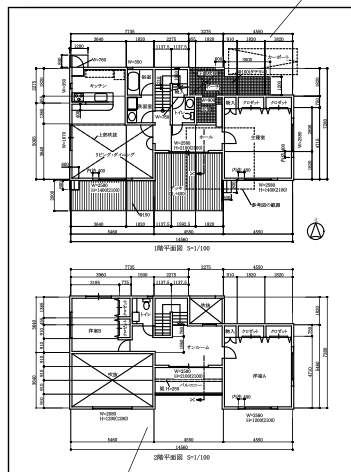
参考図 (A4サイズ)

1階平面図 S=1/100

2階屋根伏図 S=1/100

解答例 (A3サイズ)

1階平面詳細図(S=1/50)



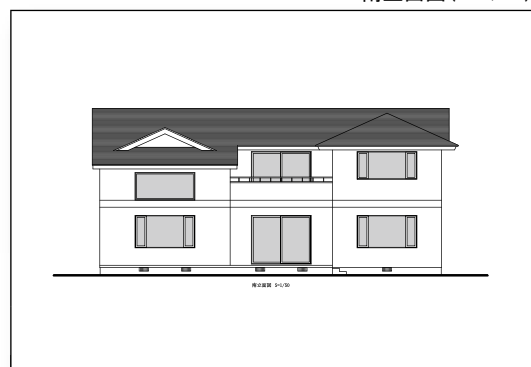
2階平面図 S=1/100

平面詳細図の参考図 S=1/50

X断面図 S=1/100

透視図

南立面図(S=1/50)



POINT

- 問題の「平面詳細図の参考図 S=1/50」では、1階平面詳細図を作成する際の壁やサッシなどの具体的な表現方法(密度の見本)が示されますので、その表現に習い1階平面図の情報をもとに1階平面詳細図を完成させます。
- 問題の「1階平面図」・「2階平面図」の情報から壁・建具などの位置を、「断面図」からは高さの情報を、そして「屋根伏図」からは屋根の勾配や形状を読み取ります。そしてこれらの情報と合わせ透視図も参考にしながら南立面図を完成させます。

3・4級試験

出題内容 与えられた建築図面をCADシステムを使って正しくトレースする実力を備えているかを問う。試験は実技試験で平面図を構成する各要素を取り出して作成した参考図の情報から完成図を一定時間内に作成する。

<試験時間:2時間>

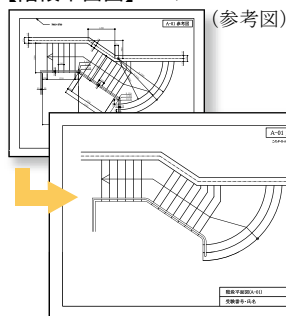
3級出題例 (全4題) (A4サイズ)

【階段平面図】 S=1/30

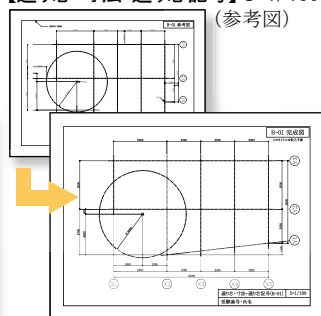
【通り芯・寸法・通り芯記号】 S=1/100

【柱・壁・間仕切壁】 S=1/100

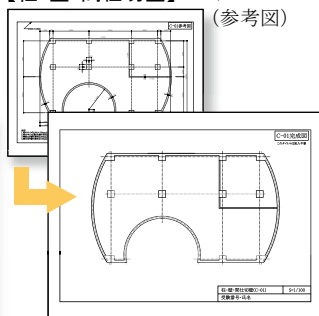
【壁と窓】 S=1/30



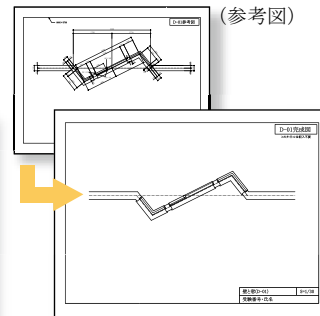
(完成図)



(完成図)



(完成図)



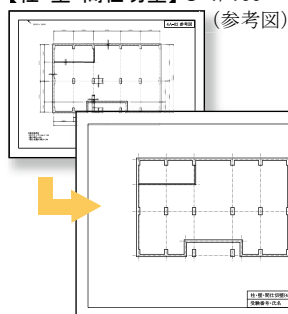
(完成図)

4級出題例 (全3題) (A4サイズ)

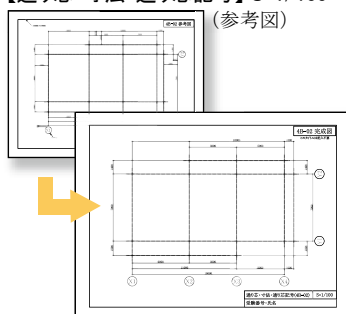
【柱・壁・間仕切壁】 S=1/100

【通り芯・寸法・通り芯記号】 S=1/100

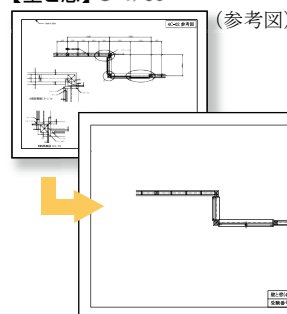
【壁と窓】 S=1/30



(完成図)



(完成図)



(完成図)

POINT

- 3級試験は全4題あり、課題毎に「参考図」と「完成図」が対になっています。受験者は与えられた「参考図」の情報から制限時間内に正確にCADを操作し「完成図」をトレース(完成図と同じ図面を作成)していきます。たとえ図面が完成していてもそれが参考図の指示通りでなければ必ず減点されますので注意が必要です。課題図面には曲線や斜め線が多用されているため様々なコマンドの操作方法を習得していることが求められます。一方、4級試験は「階段平面図」の課題がないため全3題になります。さらに図面のほとんどが直線のため3級試験より易しい内容になっています。